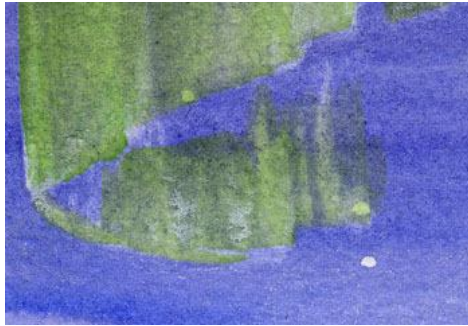


「日々の理科」(第3061号) 2022.12.24
水彩画教室 「イェリバーレ駅／スウェーデン・ノルボッテン州」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

スウェーデンの鉄道は、ボスニア湾からスカンジナビア半島を縦断する形で、北へ北へと延びています。ついには北緯67度33分の北極圏に入り、国境を越えてノルウェーの港街ナルビクまで通じています。その鉄道で北極圏最大の駅がイェリバーレ駅です。学校のような立派な駅舎で、貨物列車・長距離旅客列車が発着し、内陸鉄道の乗り換え駅でもあります。駅前からは各方面へのバスも出ています。イェリバーレは外国としては珍しく、駅が街の中心になっています。タクシー乗り場があるので、どこへ行くのにもこの駅は便利です。背後に見えるのはドウンドレット山で、スキーやオーロラ観望のリゾートとしてたくさんのコテージがあり、日本人観光客にも人気があります。



これが完成した絵です



1、カールしたオーロラ。しかしオーロラは脇役です



4、駅の三角屋根。壁の色は深い紫色で



2、雪の山頂には電波塔(航空灯台)。それに光の文字



5、駅舎の明るさと白い灯火。雪面にも光がこぼれます



3、背後の針葉樹は、淡いシルエットで表現します



6、枯れ木に積もった雪は、あとから描きます